

市川市自転車等駐車場（駐輪場）運営事業
サウンディング調査<調査結果>

駐輪場運営について、実現性や市場性の高い活用方策について民間事業者から広く意見や提案を求めて対話を行うサウンディング調査を実施しましたので、その結果概要についてお知らせいたします。

1 実施状況

日程	内容
令和5年5月16日（火）	実施要領の公表
令和5年6月13日（火）から 6月27日（火）までの期間内	対話の実施<3事業者>

2 主な対話内容

- ①想定事業の実現性について
- ②事業参画にあたっての課題や市への要望事項等
- ③事業計画等について
- ④駐輪場の費用対効果を踏まえ、利用者数を増やし、価値を高める取組みについて

3 参加事業者

3事業者

4 参加事業者からの主な意見、提案

■想定事業の実現性について

- ・先行検討地区とされている大野地区、南行徳地区の3駐輪場については、計画の実現性は高い。
- ・小規模ではなく地域全体で運営したい。（スケールメリットを活かしたい）
- ・同じ地域でまとまっていた方が良いが、現在も集金、保守管理等の案件をやっている、同じような対応は分かれていても可能。
- ・対象の駐輪場が少ないほど収支等の算出が行いやすい。
- ・修繕に関して対応可能であり、問題ない。
- ・電力の引き込み対応可能。
- ・設定する自転車使用料については市営駐輪場の料金の影響を受ける。

■事業参画にあたっての課題や市への要望事項等

- ・土地賃貸借料と駐輪場の利用料金が見合わない場合がある。駐輪場用地という事で特例的な算出が可能か。
- ・用地賃料について知りたい。
- ・用地の契約年数は最低5年、可能な限り長い方がいい。
- ・用地賃借期間は5年だと短いので、機械が10年ぐらい持つので、10年が良い。
- ・用地賃借年数が気になる。
- ・1回利用の台数（月単位）、定期の契約者数、年度別の利用者数、収支（コロナ以前）も確認したい。
- ・コロナ前の平成31年度分の収支状況を参考にしたい。
- ・コロナ前の収支も確認したい。
- ・一時利用と定期利用の人数ベースの割合が欲しい。
- ・地下駐輪場等は修繕が必要な箇所が多いため、「指定管理」での運営はどうか。
- ・キャッシュレス導入は、地下の場合は電波の問題が懸念。
- ・地下駐輪場で4G回線が欲しい。
- ・民営化したときに放置自転車を市に対応願いたい。
- ・駐輪場にある管理室等は有効活用したい。

■事業計画等について

- ・プロポーザルなどの事務手続きが年明けまでに決まっていれば、例えば、契約まで年内に終わっているなら間に合う。工事は大体1週間から10日間ほど。
- ・工事期間は、おおむね2週間の想定。電子マネー等の申請はその前に手続を行っておく必要がある。
- ・500台程度の場合で、電磁ロックのラックを導入する場合は、1ヶ月程度で完成できる。

■駐輪場の費用対効果を踏まえ、利用者数を増やし、価値を高める取組みについて

- ・ゲートとラックを費用対効果を見極めながら導入を検討する。
- ・300台までの駐輪場であればラック装置、300台以上であればゲートで運用していく。
- ・イニシャルコストを抑えられるため、1回使用であれば、ラック、定期使用であればゲートとする。
- ・機械化（ラックやゲート）の実施やWeb定期申込システム導入により、利用者の利便性向上を図る。
- ・1回、定期を混在させてしまうとシステムが複雑になり、利用者からのクレーム・トラブルとなりかねない。

- ・大野第2は坂道になっており、土地も分割されているため、ラックとゲートを併用することになる。
- ・大野第5はラック、南行徳第5はゲートとなる。
- ・電子マネー等のキャッシュレス支払に対応した精算機を設置する。
- ・人件費の削減と機械化導入を検討。自転車ラック装置やタッチパネル精算機、サイクルゲート等、精算機については交通系 IC、QR コード決済の導入が可能。
- ・精算機の支払としてはゲート、ラックとも現金、交通系 IC 両対応する予定。
- ・一時使用について Web 上で満空管理確認ができるように検討中。